



顔をじっと見続け、もう一度絵本をめくると、すぐに集中して絵本に目をやります。もつと見たいという気持ちを感じられました。

Bさん(横地分類A6)は声を掛けるとチラチラとこちらを見ています。また、体にポンポンと触れるとにこやかな表情でこちらを気にしている様子がありません。日常活動ではゆったりとした語りかけやタッチングのリズムを感じて楽しむ活動をしています。「おおきなかぶ」を語りかけるとチラチラと職員のほうに視線を向け、語りかけがすすんでいくと体の動きを止めて聞いている様子になります。「うんとこしょどっこいしょ」のところでは、職員の顔をじっと見つめ、より集中して語りかけを聞いています。歌に合わせたのタッチングでは、「し

あわせなら手を叩こう」を歌いかけながら一部で優しく肩に触れます。歌いかけると職員の顔をじっと見ていて、肩に触れるとパツと表情が明るくなります。歌の最後で触れる時に少し時間を置くと、待っているようにこちらを見ます。触れると嬉しそうな表情をしていました。

**あさひの
日常活動紹介**
西澤 千恵子

あさひは18歳以上の方を対象とし、現在36名の方(横地分類A1が17名、A2が3名、A3が2名、B3-Bが1名、A4が1名、B1が6名、B3が1名、B4が1名、D1が2名、D2が1名、D3-Bが1名)が利用されている通所部門です。5~8人の5グループに分かれ、日常生活の様子からその人の理解を深め、一人ひとりの興味関心や楽しみ方に合わせ、個別で活動を提供しています。

Aさん(横地分類A1)は、吊るした紙風船が風で揺れる様子をよく見ていることがあり、素材の動きや変化する様子に関心があるようです。新聞紙をひらひらと上下に揺ら



すとじっと見つめます。その紙を丸めて小さくした後、広げていくと、より紙に注目していました。今度は、その紙を半分に破いていくと何をやるんだろうというような期待の眼差しで見つめます。間を置き、最後に一気に破いてみると笑い声が上がりました。次にAさんの視線は、破られて带状になった新聞紙に向きました。手を伸ばし新聞紙をギュッとつかんで引き寄せます。引き寄せて破れた紙を「破れたね」と声をかけながら手から外すと、嬉しそうな表情の中にも紙を見つめる真剣な眼差しがありました。紙の形がいろいろ変化していく様子が楽しいと感じた活動になったと思います。

Bさん(横地分類A1)は、周りの音をとてもよく聞いているようで、静かな部屋の中で、楽しそうに微笑んでいる



ことがありました。職員が耳を澄ませてみると、部屋の外で昼食後の食器を重ねる「カチャカチャ、カチャン」という音がしていました。私たちが聞き逃してしまいうような生活音にもリズムや音色を感じて楽しんでいるのではないかと思います。

音の活動として太鼓にピンポン玉を落とし、音の響きやリズムの変化を提供しました。ピンポン玉を一定の速さで落としていくとじっと聴いています。落とす速さを変えるとキョロキョロした目の動きがあり、変化に気づいたようでした。また元の速さで落としていき、間を開けると音を探さような目の動きがありました。次に太鼓ではなくタンバリンに変えてピンポン玉を落としました。今まで聴いてい

た音と違った音が聴こえた面白さからなのか、声を出して笑っていました。太鼓の音を集中して聴き、リズムや音の変化を楽しんでいるのだと思います。

一人ひとり活動の楽しみ方は違いますが、その人にあった活動を提供していきたいと思っています。

小さな親切運動

3月9日(土)

「小さな親切」運動静岡県本部より静岡銀行細江支店の皆さんを中心としたグループが2号館の窓ガラス清掃をして下さいました。毎年この時期に活動をして下さっており、今年で6回目となりました。春の穏やかな陽気の中、皆さん一生懸命清掃をして下さいました。職員一同、感謝申し上げます。

